

学年	3	科目 分類	離散数学 Discrete Mathematics	講義 必修	通年 2単位	学習教育目 標	担当	鈴木康人 Yasuhito SUZUKI
学科(1年は 1年)	S					3		
概 要	有限個を対象とする数学を講義することでコンピュータが使用するオブジェクトへの数学的応用を考察する							
科目目標 (到達目標)	大きいオーなどのプログラムの効率に関わる議論の初歩を理解し、組み合わせ数学やグラフ理論についての問題を解くことが出来る							
教科書 器材等	J. マトウシエク, J. ネシエトリル「離散数学への招待 上」, 丸善, 2013							
評価の基準と 方法	定期考査(70%;70%を前期中間10.5%, 前期期末10.5%, 後期中間21%, 後期末25%の比率で重みづける), 演習(20%;ゼミ形式, 当たっていない学生は平均で算出), 小試験(10%;ノート参照可)とする.							
関連科目	データ構造とアルゴリズム, プログラミング演習I, II, III							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		オリエンテーション-離散数学の有用性について, 数と集合						
第2回		数学的帰納法と他の証明						
第3回		予備						
第4回		演習1						
第5回		関数						
第6回		関係						
第7回		演習2						
第8回	×	前期中間試験						
第9回		関係						
第10回		同値関係						
第11回		順序関係						
第12回		演習3						
第13回		関数と部分集合						
第14回		置換と階乗						
第15回		二項係数						
第16回	×	前期末試験						
第17回		演習4						
第18回		評価-入門編						
第19回		評価-階乗関数						
第20回		評価-二項係数						
第21回		演習5						
第22回		包除原理						
第23回		クローク係嬢の問題						
第24回		演習6						
第25回	×	後期中間試験						
第26回		グラフの概念-同型						
第27回		部分グラフ, 連結成分, 隣接行列						
第28回		次数列						
第29回		演習7						
第30回		オイラーグラフ						
第31回		オイラー回路を求めるアルゴリズム						
第32回		オイラー有向グラフ						
第33回	×	学年末試験						
第34回		演習8						
オフィスアワー	火曜 17:15-19:00							
授業アンケート への対応	執筆時点で未集計							
備 考	成績はHR内でその都度すべて一覧として開示する							
更新履歴	20130322 新規							